

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和元年10月～12月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成30年10月～12月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				前期（令和元年7月～9月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				今期（令和元年10月～12月期）と比べた 来期（令和2年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	24.6	44.3	31.1	△ 6.6	50.8	27.9	21.3	29.5	16.7	30.0	53.3	△ 36.7
2 採 算	16.7	60.0	23.3	△ 6.7	24.1	55.2	20.7	3.4	13.6	50.8	35.6	△ 22.0
3 仕 入 単 価	48.3	46.7	5.0	43.3	34.4	60.7	4.9	29.5	23.3	75.0	1.7	21.7
4 従 業 員 数					10.3	87.9	1.7	8.6	3.4	93.1	3.4	0.0
5 資 金 繰 り					8.8	86.0	5.3	3.5	3.5	82.5	14.0	△ 10.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.0	52.5	25.4		△ 3.4		35.6	50.8		13.6	22.0		3.4

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	30.6	6.5	6.5	43.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.1	12.9	8.1	29.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	6.5	8.1	1.6	16.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	1.6	4.8	6.5
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	1.6	1.6	6.5	9.7	10 事 業 資 金 の 確 保 難	8.1	3.2	3.2	14.5
4 原 材 料 高 及 び 不 足	3.2	12.9	9.7	25.8	11 需 要 の 停 滞	4.8	16.1	12.9	33.9
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	17.7	11.3	4.8	33.9	13 そ の 他	4.8	3.2	1.6	9.7
7 人 件 費 の 増 加	8.1	1.6	8.1	17.7	無 回 答	6.5	21.0	32.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成30年10月～12月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				前期（令和元年7月～9月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				今期（令和元年10月～12月期）と比べた 来期（令和2年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	33.3	33.3	0.0	44.4	44.4	11.1	33.3	33.3	11.1	55.6	△ 22.2
2 採算	25.0	50.0	25.0	0.0	55.6	33.3	11.1	44.4	33.3	33.3	33.3	0.0
3 仕入単価	50.0	37.5	12.5	37.5	11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0
4 従業員数	/	/	/	/	11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	88.9	0.0	11.1
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	88.9	11.1	△ 11.1	11.1	77.8	11.1	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	44.4	33.3		△ 11.1		22.2	66.7		11.1	11.1		11.1

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	44.4	0.0	11.1	55.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	11.1	44.4	0.0	55.6
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	11.1	11.1
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	11.1	0.0	11.1	22.2
4 原材料高及び不足	0.0	22.2	11.1	33.3	11 需要の停滞	11.1	11.1	11.1	33.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	11.1	0.0	11.1	22.2	13 その他	11.1	11.1	0.0	22.2
7 人件費の増加	0.0	11.1	22.2	33.3	無回答	0.0	0.0	11.1	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 消費税が引き上げられ材料が高くなり、価格が高くなり、今後どうするか検討していく。
- ・ 人材不足。
- ・ 人材育成。定着してもらうための育成、教育が必要

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成30年10月～12月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				前期（令和元年7月～9月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				今期（令和元年10月～12月期）と比べた 来期（令和2年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	12.5	37.5	50.0	△ 37.5	62.5	25.0	12.5	50.0	37.5	25.0	37.5	0.0
2 採算	37.5	50.0	12.5	25.0	37.5	37.5	25.0	12.5	25.0	50.0	25.0	0.0
3 仕入単価	50.0	50.0	0.0	50.0	37.5	62.5	0.0	37.5	25.0	75.0	0.0	25.0
4 従業員数					14.3	85.7	0.0	14.3	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					0.0	100.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		42.9	42.9	14.3		28.6		57.1	28.6		14.3	42.9		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	12.5	12.5	0.0	25.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	12.5	12.5
2 大企業進出による競争激化	12.5	12.5	0.0	25.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	12.5	12.5
3 製品・商品単価の下落	12.5	0.0	0.0	12.5	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	12.5	12.5	25.0	11 需要の停滞	12.5	12.5	0.0	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	37.5	12.5	12.5	62.5	13 その他	0.0	12.5	0.0	12.5
7 人件費の増加	12.5	0.0	12.5	25.0	無回答	0.0	25.0	37.5	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 予算の厳しい工事が多くなってきた。
- ・ 消費増税は景気が落ち込み、建築業界全体的に売上が落ちている。
- ・ 消費税の会計処理で8%と10%に毎回区分して仕訳記票、入力する手間が増え事務効率が毎回悪くなっている気がする。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年10月～12月期)と比べた 今期(令和元年10月～12月期)の状況				前期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年10月～12月期)の状況				今期(令和元年10月～12月期)と比べた 来期(令和2年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	22.2	44.4	33.3	△ 11.1	44.4	11.1	44.4	0.0	11.8	47.1	41.2	△ 29.4
2 採 算	5.6	72.2	22.2	△ 16.7	5.9	58.8	35.3	△ 29.4	11.8	58.8	29.4	△ 17.6
3 仕 入 単 価	33.3	66.7	0.0	33.3	27.8	66.7	5.6	22.2	29.4	70.6	0.0	29.4
4 従 業 員 数					11.1	88.9	0.0	11.1	5.9	94.1	0.0	5.9
5 資 金 繰 り					5.9	88.2	5.9	0.0	0.0	94.1	5.9	△ 5.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	55.6	27.8		△ 11.1		22.2	72.2		5.6	16.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	31.6	10.5	5.3	47.4	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	5.3	10.5	15.8
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.3	5.3	10.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	5.3	0.0	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	5.3	15.8	21.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	10.5	5.3	5.3	21.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	5.3	10.5	0.0	15.8	11 需 要 の 停 滞	5.3	21.1	21.1	47.4
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	21.1	15.8	5.3	42.1	13 そ の 他	5.3	0.0	5.3	10.5
7 人 件 費 の 増 加	15.8	0.0	5.3	21.1	無 回 答	5.3	15.8	21.1	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 運送費の値上がり。
- ・ 消費者還元事業に伴い、カードやモバイル決済が増加した。
- ・ 増税の反動が長く続いて冬季に入り、消費の冷え込みが心配。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年10月～12月期)と比べた 今期(令和元年10月～12月期)の状況				前期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年10月～12月期)の状況				今期(令和元年10月～12月期)と比べた 来期(令和2年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	21.4	57.1	21.4	0.0	42.9	50.0	7.1	35.7	7.1	35.7	57.1	△ 50.0
2 採算	14.3	64.3	21.4	△ 7.1	14.3	71.4	14.3	0.0	7.1	42.9	50.0	△ 42.9
3 仕入単価	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	64.3	7.1	21.4	14.3	85.7	0.0	14.3
4 従業員数	/	/	/	/	7.7	92.3	0.0	7.7	0.0	92.9	7.1	△ 7.1
5 資金繰り	/	/	/	/	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	83.3	16.7	△ 16.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		21.4	64.3	14.3		7.1		50.0	35.7		14.3	35.7		7.7

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	28.6	7.1	7.1	42.9	8 設備店舗の狭小・老朽化	7.1	7.1	0.0	14.3
2 大企業進出による競争激化	21.4	21.4	0.0	42.9	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	7.1	7.1
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	7.1	7.1	10 事業資金の確保難	14.3	0.0	0.0	14.3
4 原材料高及び不足	0.0	7.1	7.1	14.3	11 需要の停滞	0.0	0.0	7.1	7.1
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	14.3	0.0	14.3	13 その他	7.1	0.0	0.0	7.1
7 人件費の増加	7.1	0.0	7.1	14.3	無回答	14.3	42.9	57.1	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ ブラジル人のお客減少。
- ・ お客の来店周期が長くなっている。
- ・ 現在現金決済のみだが、キャッシュレスを言われるお客様が圧倒的に増えた。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成30年10月～12月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				前期（令和元年7月～9月期）と比べた 今期（令和元年10月～12月期）の状況				今期（令和元年10月～12月期）と比べた 来期（令和2年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	41.7	25.0	8.3	66.7	16.7	16.7	50.0	8.3	16.7	75.0	△ 66.7
2 採 算	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	30.0	60.0	10.0	20.0	0.0	63.6	36.4	△ 36.4
3 仕 入 単 価	75.0	25.0	0.0	75.0	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3
4 従 業 員 数	/	/	/	/	9.1	90.9	0.0	9.1	0.0	90.9	9.1	△ 9.1
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	63.6	36.4	△ 36.4

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		18.2	45.5	36.4		△ 18.2		36.4	36.4		27.3	9.1		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	33.3	0.0	8.3	41.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	25.0	16.7	16.7	58.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	8.3	16.7	25.0	50.0	11 需 要 の 停 滞	0.0	33.3	16.7	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	25.0	8.3	0.0	33.3	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	8.3	16.7	33.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 人員不足によりメニューを絞ったり、予約を受けられない日があった。
- ・ PayPayでの支払いが増えた。
- ・ 客単価が落ちている。消費税引上後、特に感じる。